

平成 29 年流山市教育委員会議第 12 回定例会会議録

- 1 日 時 平成 29 年 12 月 26 日 (火曜日)  
開会 午前 10 時 00 分  
閉会 午前 11 時 10 分
- 2 場 所 流山市役所 303 会議室
- 3 出席委員 委 員 長 杉浦 明  
委員長職務代理者 浅井 真由美  
委 員 宮田 義則  
委 員 堀内 博  
教 育 長 後田 博美
- 4 欠席委員 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 出席職員 学校教育部長 小澤 豊  
生涯学習部長 戸部 孝彰  
学校教育部次長兼学校教育課長 前川 秀幸  
生涯学習部次長兼生涯学習課長 井口 仁志  
教育総務課長 根本 政廣  
教育総務課施設整備室長 大塚 昌浩  
指導課長 笠井 善亮  
スポーツ振興課長 金子 邦晃  
公民館長 中西 直人  
図書・博物館長 小栗 信一郎
- 7 事務局職員 教育総務課長補佐兼庶務係長 大作 正巳  
教育総務課庶務係主査 矢代 薫
- 8 議案等  
なし

## 9 議事の内容

(開会 午前 10 時 00 分)

杉浦委員長

ただいまから、平成 29 年流山市教育委員会議第 12 回定例会を開会します。まず、平成 29 年流山市教育委員会議第 11 回定例会の会議録をお配りしておりますが、ご意見、ご指摘がございますか。

(特になし との声あり)

杉浦委員長

特になしということですので、承認することにいたします。  
それでは、教育長報告をお願いします。

後田教育長

それでは 11 月の教育委員会議以降について、ご報告させていただきます。

① 11/18、11/19 流山市生涯学習センターで、市内小中学校図画工作・読書感想文の作品展が開催され、合計 1,496 点の作品が展示されました。2 日間の合計で 3,686 人もの参観があり、大変盛況のうちに終了しました。

② 11/21 流山市教育委員会指定公開研究会が東小学校で開催され、学び合うことのできる児童の育成を研究テーマに、研究授業の発表がありました。活発な学習活動や若い教職員を中心とした研究組織が既にできており、アイデアも若い先生方の意見も取り入れるということで、若い教職員がいきいきと研究会に臨んでいる姿が印象的でした。今後の教育の発展が期待できるものと思いました。

③ 12/2 流山市青少年社会環境浄化事業（青少年ふれあい運動）の全体のつどいが、流山市文化会館で開催されました。今回は店舗利用調査報告を、地区を代表して東深井地区と北部地区が行いました。大人の方の万引きが多いということですが、小中学生が全くないわけではありません。ただ、学校にそうした情報がなかなか入らず、保護者とお店との話し合いで終わってしまうことが多いので、学校側も把握できていません。挨拶が良い、という話もありましたが、私はやはりそうしたマイナスの部分が聞いていて印象に残りましたし、また心を痛めておりますので、このことについては指導していかなければいけないと思っています。市内小中学校の校長先生も出席されておりましたので、コンビニなどの利用の状況や課題についての報告を、今後の各学校の指導に生かしていけたらと思います。

④ 11/30 第 4 回定例議会が開催され、12/20 に閉会しました。一般質問の概要についてご報告します。

- (1) 本町活性化のため、一茶双樹記念館の観覧料制度を廃止したらどうかということについて。
- (2) 小中学校に、部活動として「防災部」を設置することについて。
- (3) 平成30年度の教育方針で、学校教育、生涯学習について。
- (4) 小学生の放課後の多様な居場所づくりについて。
- (5) 新設小学校建設に向けての学区変更の住民に対する説明、特色あるプログラムの公募、学校選択制を導入、学校変更予定の子どもたちの事前クラスの分け方について。また、大畔地区の自然環境を活かした児童館の併設について。
- (6) 就学援助制度を拡充について。
- (7) 小山小学校区域における民設民営学童クラブの委託契約について。
- (8) 学校規模の見解について、市政の優先度を切り替える考えについて。また、校舎の長寿命化や私有地にある小中学校用地購入について、教職員の労働環境改善について
- (9) 新設小学校の学区変更について、今後どのように説明していくのかについて。新設中学校の設置場所について。
- (10) 児童・生徒の居場所づくりについて、民間の参入により整備すべきと考えるがどうか。児童・生徒の居場所づくりとして、学校の開放を進めるべきと考えるがどうか。
- (11) NPOや市民団体等と連携し、学校施設を開放し、クッキング教室や食育活動を展開してはどうか。

などがありました。

⑤ 12/13 東部中学校50周年記念式典が開催されました。東部中学校の歴史や変化の様子を生徒が演じたり、呼びかけにしたりしてお祝いしました。その後の講演会では、卒業生のリオデジャネイロオリンピック女子200メートル個人メドレー出場の寺村美穂選手が話をされ、生徒の高い関心の中、盛大に50周年式典が終了しました。

⑥ 平成29年度千葉県学校歯科保健優良校表彰において、西初石小学校が優秀賞、東深井小学校、西深井小学校、東深井中学校の3校が優良賞に選ばれました。また、平成29年度歯と口の健康週間関連事業で、流山小学校3年の金巻 編君が、図画・ポスターコンクール小学校低学年の部で千葉県教育長賞に輝きました。また、平成29年度全国健康づくり推進学校で、東深井小学校が優良校に選ばれました。

報告は以上です。

杉浦委員長 ただいまの教育長報告に対しまして、質疑、意見等がありましたらお願いします。

(特になし との声あり)

杉浦委員長 特にないようですので、以上で教育長報告については、終了いたします。次に各課等報告を学校教育課長からお願いします。

学校教育課長 (新設小学校の通学区域設定について報告)

指導課長 (図画・習字・読書感想文作品展について報告)

公民館長 (青少年ふれあい運動全体の集いについて報告)

図書・博物館長 (企画展「まちづくりのヒストリア」について)

教育総務課施設整備室長 (新設小学校の建設について)

杉浦委員長 以上の各課等報告への質疑、意見等がありましたらお願いします。

浅井委員 新設小学校の通学区域設定についてですが、まず、西初石小学校の近辺に住んでいる方々からの意見は出ていないのですか。また、新設小学校には今のところ特別支援学級の予定はないのですか。

学校教育課長 新設小学校通学区域の北の部分についてですが、大畔地区がこのような形になっているので、通学区域もそのままこの形になっています。但し、西初石小学校の北側の部分については、非常に児童数も少ない状況にあるのですが、この地域については、西初石小学校への指定学校許可地域にする予定です。

また、特別支援学級については、これから当然ニーズがあるとは考えていますので、人数等精査して実際に入学される方々の状況を確認しながら設置していきたいと考えています。

後田教育長	<p>特別支援学級を設置するには県の許可を得る必要がありますので、そうした児童がいないのに特別支援学級を設置することはできないということです。これは開校してみなければわかりませんので、新設校に今必要なのは、特別支援学級を含み必要な教室数を設置しなければならない、ということです。</p>
宮田委員	<p>これだけ配慮して行っても、実際進めていく中で今後どのようなことが起こるかはわかりませんが、今、最善の方法でこのような形でいきたいと思いますので、私はこれに賛成したいと思いますし、保護者の方も一緒に「こういう学校を作りましょう」という方向に向いていただけると嬉しく思います。ただ、このクラス数を見ると、これだけ配慮してもぎりぎりの教室数になってしまうのか、というのが率直な感想です。</p>
堀内委員	<p>誠実にご対応いただいていますし、大型のマンションができて爆発的に人口が増えたりする場合は、路線バス復活等の対応をする自治体もあると聞いていますので、今後も住民の方の声ですとか、市議会の方に検討いただきながら対応いただいて、無事に新設校が開校となればと思っています。</p>
杉浦委員長	<p>新設校の学区で、多くの子どもがいるであろうおおたかの森地区から、学校のある大畔の方へ道路を渡ることになるとと思いますが、どの辺りを渡ることを想定しているのですか。</p>
学校教育課長	<p>現在想定しているのはベルクの辺りで、渡ってそのまま北上して左折するというのを考えているのがひとつと、あとは都市軸道路が開通すれば、この道路を新設小学校の方まで歩いて行き、そこを渡るというのが最短距離になります。実際に歩いてみましたが、歩道がかなり広く整備されているので、大きな道路を渡る時にいかに配慮するかというのが、これからさらに検討を深めていかなければというところです。</p>
杉浦委員長	<p>何百人という子どもが渡るのでしょうか、特段の配慮、例えば道路建設の上でも、このような点では安全策を図っている等の説明を加えれば、尚、納得していただけるのではないかと思います。</p> <p>また、弾力の48学級を超える場合に、それを標準の40人にして担任サポート教員を配置する、という構想ということですが、担任サポートはどのような基準で配置するのですか。</p>

学校教育課長	38人を超えた学級に配置します。
杉浦委員長	見込みはどれくらいですか。
学校教育課長	その数字はまだ出ていません。
学校教育部長	36年度以降にそうなるだろうということで、まだ生まれていない子どものことになりますので、数字はまだ出していません。ただ、毎年児童数の推計値・想定値は継承していきますので、その段階で前もって担任サポートが何人程度必要なのかということは考えていきたいと思っています。
後田教育長	これからはそうした数値も必要になると思いますので、生まれている子たちで試算をして、今後、細かな数字も出していけたらと思います。
杉浦委員長	企画展「まちづくりのヒストリア」について、発表されるのは学芸員の方ですか。
図書・博物館長	はい、実際に発掘調査等を行っている皆さんに発表を行っていただきます。
杉浦委員長	小中学生にはちょっと難しい内容ですか。
図書・博物館長	小学生にはちょっと難しいかと思います。
宮田委員	新設小学校の建設についてですが、木の学校づくりという方向になったのですか。
教育総務課施設整備室長	はい、市としても、木で造ると補助金も出るということと、大畔地区の環境を踏まえると、周辺に森が多いので、木で造る方が地球環境にもいいだろうということで、住民説明会で説明したところ、良い反応だったとっておりますので、これで進めていこうということになりました。
杉浦委員長	設計会社も確定なのですか。

<p>教育総務課施設整備室長 杉浦委員長</p>	<p>9月にプロポーザルを行い、こちらの会社に決定しました。 プロポーザルは何社で行ったのですか。</p>
<p>教育総務課施設整備室長</p>	<p>9社から提案があり、そのうち書類選考で6社に絞り、プレゼンテーションを行いました。</p>
<p>堀内委員</p>	<p>学校づくり通信の第一号ということで非常に興味深く拝見しましたが、これはどのような形で一般の方には伝わるのですか。</p>
<p>教育総務課施設整備室長</p>	<p>市のホームページに掲載しております。そのほか前回の住民説明会時には、印刷し、配布しております。</p>
<p>堀内委員</p>	<p>なるべく1人でも多くの方が知ればまた新たな興味がわくと思いますし、木の学校づくりというものが間接的にもどういう形や、イメージなど具体的な印象がよく伝わるとと思いますので、是非ホームページだけではなく、方法があれば考えていただければと思います。</p>
<p>後田教育長</p>	<p>配布はしないのですか。おおたかの森小中学校建設の時も、併設校だよりを作り、月1回配布しており、その中にはさまざまなこと、例えば制服のこと等を載せていました。ホームページは見る人しか見ないので、何らかの工夫をした方がよいかと思います。</p>
<p>杉浦委員長</p>	<p>今後のワークショップの予定が出ていますが、回により子ども中心のワークショップだとか、そういったバリエーションはあるのですか。</p>
<p>教育総務課施設整備室長</p>	<p>ワークショップのメンバーは固定させていただいております。1回目は学校施設の目指すべき姿ということで学習空間、生活空間、地域との連携を中心に議論されました。2回目は地域の方が多かったので、地域との連携を中心に議論が行われました。3回目は校舎の配置についてや、有識者から木の学校の魅力についてお話しいただき、学校教育の議論を進める予定です。4回目は、それまでの議論のまとめという形で、本年度の基本計画を策定したいと思います。</p>

杉浦委員長	メンバーは大人のみですか。
教育総務課施設整備室長	はい、自治会や地区社会福祉協議会からの推薦者です。
杉浦委員長	おおたかの森小中学校を造る時は、小山小で子どもたちを集めたワークショップを行い、結構盛り上がっていたのでお聞きしました。
教育総務課施設整備室長	おおたかの森小中の時は、基本計画を策定する段階で1年半くらい時間をかけられましたが、今回は半年しかなかったので時間をかけることができず、いろいろな手段でいろいろな人の意見を聞くことが時間的に難しかったということがありました。現段階では考えてはおりません。
杉浦委員長	そのほか、何かございますか。  (特になし、との声あり)
杉浦委員長	特にないようですので、各課等報告についての質疑を終了します。 その他協議する事項がありましたらお願いします。
後田教育長	平成30年度の教育施策について協議を行いたいと思います。
学校教育課長	平成30年度の教育施策を考えるにあたり、31学級以上の過大規模校が今後増えてくるということで、ご意見を伺いたいと思います。 平成29年度は31学級を超える過大規模校は、小山小学校とおおたかの森小学校ですが、来年度以降は小山小学校、おおたかの森小学校、流山小学校、南流山小学校の4校が大規模校となってきます。 来年度の教育施策でも、将来的に見越したうえでも、過大規模校が増える中で、いかに教育の質を落とさずに運営していくかということについて、ご意見をいただいて、来年度の教育施策に反映していければと考えております。
後田教育長	市内にそういう学校があればイメージできるが、何もないところで議論するのは非常に難しいので、できれば教育委員の皆様には大きな学校を視察していただき、実際に校長先生や教育委員会の方に実情を伺うということが必要ではないかと思います。

杉浦委員長 おおたかの森小学校や小山小学校は県内でも、規模としては最も大きな学校だと思うので、そういったところや、近隣でどこかあれば視察できたらいいのですが。

学校教育部長 この辺りでは、我孫子市立根戸小学校は以前県内でも2番目くらいに大きい学校で、現在も40学級前後はあったと思います。

後田教育長 新しい学校はこれから造るので、人数に合わせることができるが、既存の学校はそれができず、その点では、根戸小学校は近くに巨大なマンション開発があり、人数が増えたので、既存の学校にどのように特別教室を作ったのか、校庭や体育館はどのようにしたのかなど、そういったことを聞くことも必要だと思います。

杉浦委員長 視察をして議論した方がより現実的な発想になりますので、どこか視察できる場所を探していただきたいと思います。

その他、何かご意見等ございますか。

(特になし、との声あり)

杉浦委員長 それでは次回の教育委員会議について、事務局からお願いします。

教育総務課長 次回の教育委員会議は、1月23日(火曜日)、午前9時30分からとしたいと思いますが、いかがでしょうか。場所につきましては、後日お知らせいたします。

(次回の日程協議)

杉浦委員長 それでは、次回の教育委員会議は、1月23日(火曜日)、午前9時30分から開催することとします。

以上で、平成29年流山市教育委員会議第12回定例会を終了します。

(閉会 午前11時10分)